

平成20年度食品安全モニター会議について

1 開催趣旨

平成20年度食品安全モニター会議は、モニターの方々に、食品安全委員会の取組や食品健康影響評価の実際などについて、知識や理解を深めていただくとともに意見交換を行うことを目的に開催した。

2 開催状況

平成20年5月から6月にかけて、全国7都市において計10回開催し、合計326名の食品安全モニターが参加した。

3 会議概要

会議は、大きく2部構成で行い、第1部では、事務局から食品の安全性と信頼性確保について、続いて食品安全委員会委員からリスク評価の考え方と実際について説明を行った。第2部では、事務局から食品安全モニターの活動について説明を行い、19年度から継続して活動いただいている数名のモニターの方から、食の安全の確保に向けた地域における取組・随時報告について発表していただいた。その上でこれらをもとに、食品安全委員会委員等とモニターとの間で意見交換を行った。最後に、新たな試みとして、モニターを小グループに分けて自己紹介・意見交換等を行った後、閉会とした。

また、会議には、厚生労働省、農林水産省の担当者も出席し、リスク管理施策等幅広い観点からの意見交換を行った（別紙1）。

なお、今後の会議等の運営に当たっての参考とするために会議終了後にアンケート調査を行った。その結果は、別紙2のとおり。

開催日 開催場所	モニター出席者		出席委員	説明委員
	対象地域	人数		
5月20日（火） 札幌市	北海道	13人	小泉 直子 委員	小泉 直子委員
5月21日（水） 仙台市	青森県、岩手県、宮城県、 秋田県、山形県、福島県	27人	廣瀬 雅雄 委員	廣瀬 雅雄委員
5月27日（火） 東京都（東京1）	東京都、山梨県、長野県	39人	見上委員長、各委員	野村 一正委員
5月28日（水） 東京都（東京2）	千葉県、埼玉県、新潟県	34人	見上委員長、各委員	小泉 直子委員
5月30日（金） 東京都（東京3）	茨城県、栃木県、群馬県、 神奈川県	47人	見上委員長、各委員	廣瀬 雅雄委員
6月3日（火） 岡山市	鳥取県、島根県、岡山県、 広島県、山口県、徳島県、 香川県、愛媛県、高知県	38人	見上 彪 委員長	見上 彪委員長
6月4日（水） 福岡市	福岡県、佐賀県、長崎県、 熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県、沖縄県	38人	見上 彪 委員長	見上 彪委員長
6月10日（火） 名古屋市	岐阜県、静岡県、愛知県、 三重県	30人	長尾 拓 委員	長尾 拓委員
6月11日（水） 大阪市（大阪1）	大阪府、兵庫県	32人	長尾 拓 委員	長尾 拓委員
6月11日（水） 大阪市（大阪2）	富山県、石川県、福井県、 滋賀県、京都府、奈良県、 和歌山県	28人	本間 清一 委員	本間 清一委員

＜食品安全モニターからの主な意見等＞

意見交換の際のモニターからの主な意見等は、以下のとおり。

1) 食品安全一般に関する意見等（評価案件関連以外のもの）

＜食品安全委員会活動・全般関係＞

- ・ 中国産ギョウザ問題において食品安全委員会はどのように関わったのか。スライドで、食品安全委員会の役割として「緊急の事態への対応」があると説明されていたが、その対応方法はケースバイケースと考えていいのか。
- ・ 危機管理の面から、緊急事態の時、食品安全委員会は公正中立そして、はっきりした明快な情報提供をすべきだと思っている。これまでの対応状況を教えてほしい。
- ・ 食品安全委員会は、あくまでも厚生労働省や農林水産省から諮問を受けてから評価するのか。
- ・ 内閣府の食品安全委員会と各県との繋がりを教えてほしい。
- ・ 自分は食品事業者であり、今年初めてモニターになった。表示に関して保健所や農水省にそれぞれ聞いたり、それでも判らないときは両方を事務所に呼んで講習会などを開いている。厚生労働省、農林水産省の両方にご意見を言えるのが食品安全委員会だと考えている。地域の橋渡しをしようとした場合、実際に市町村の窓口はどこになるのか。
- ・ 消費者行政の一元化や、消費者庁について、多くの報道があるが、食品安全委員会はどうなるのか。関係しているのか？
- ・ 特保について、食品安全委員会がこの制度を止めてしまうよう勧告することはできないのか。

＜食品安全委員会活動・広報、リスクコミュニケーション関係＞

- ・ 「リスク」の日本語訳はないのか。横文字の言葉はわかりにくい。
- ・ 中国産冷凍ギョウザのことについて、ある人は、（随時報告で）冷静なコメントを寄せているが、別の人は、感情的なコメントを寄せている。食品安全委員会としては、どう回答するのか教えて欲しい。
- ・ 食品安全モニターの随時報告について、それぞれの報告の中で、実際の行政に役立った例はあるのか。そもそもモニター報告は、一般の人向けの Q&A を作る際の Q を見つけるためのものなのか、何か課題を探すためのものなのか。
- ・ 意見交換会は年に何回位実施するのか。また、意見交換会等の日程はどのように公表されるのか。
- ・ 『食中毒原因微生物のリスク評価案件の選定に関する意見交換会』に参加した。どれを評価するかについて、既に食品安全委員会の方針があったようで、参加者から意見を聞くというのは、見せ掛けのような印象を持った。
- ・ 『地域の指導者育成講座』は、どのようなことをするのか。
- ・ 昨年は栃木県宇都宮市でのリスクコミュニケーター講座に出席した。他の人に情報を伝える具体的な方法を学ぶのにとっても有意義だと感じた。今後もっと開催してほしい。
- ・ 食糧確保の観点から、遺伝子組み換え食品についての見解は如何。道民の反発もあるので、リスクコミュニケーションにより、理解を得る必要がある。これは行政の努めであると考え

る。

- ・ 季刊誌は、わかりにくい評価の内容もわかりやすく書かれていて、読みやすい。身近な仲間に配布しているが、一般消費者にはキッズボックスの情報で十分だと思う。食育が話題になっているが、小学3、4年生ならば、キッズボックスの内容も理解できると思うので、キッズボックスの部分を学校を通じて配布してはいいか。それぐらいの年齢ならば、親も見ると思うので、食品安全委員会の活動も広まるのではないだろうか。4半期ごとが難しいのであれば、2期ずつ、半年ごとでもかまわない。
- ・ 昨年の夏休み、市の保健センターで小学生対象の弁当作りの講座があった。キッズボックスをコピーして配ったら好評で、季刊誌は役に立つと思った。
- ・ 大学教員をしており、メルマガを参考にしているが、まわりの人に紹介するには内容が高度で量も多い。季刊誌のキッズボックスがわかりやすい。メルマガも少しでも平易な内容にするなど、いろいろな人に読んでもらうために工夫をしてはどうか。DVDは学生に見せると好評で、長さも内容もちょうどよいとの感想が多い。
- ・ 昨年作られた食品安全委員会を説明したDVDは、内容が少し難しい気がした。他のDVDも入手したいが、配布は終了のようだ。どのようにすればよいか。
- ・ 食品安全委員会が作成しているDVDはどこで入手できるのか、もしくは買えるのか？
- ・ 食品安全委員会が設立され5年となる。小泉政権が行った数少ない良いものであると認識している。食品安全委員会は、諸外国に比べ、予算も人も少ない。昨年のモニター会議では、季刊誌の発行部数がとても少ないと感じた。DVDの発行数も少ないようで心ざびしい。今年の季刊紙の発行部数は増加しているのか。
- ・ テレビやメディアでは、根拠をきちんと取っているかわからないような情報が流されている。暗に不安をあおっているようにも感じる。食品安全委員会や政府として、正しくない情報について、意見を出すことは重要ではないか？
- ・ 資料によると、情報の入手源はマスコミが多いとのことだが、メディアへの取組はどのように行っているのか。

＜その他＞

- ・ 食品業界ほど構造改革が遅れている業界はないと実感している。食品業界は素材から加工品製造までとても範囲が広い。「食の安全＝命を守る」力が、すべての食品関連事業者にあるのか疑問。食品に携わる企業レベルをミシュランのように格付けして消費者にアピールすべき。安全を保証できる商品であれば高価でもいい人もいる。
- ・ 農村に住んでいるが、農薬散布時の周囲への飛散について徹底してほしい。休耕田にも航空防除がされている。県にも農薬散布について注意している。

2) 評価案件等に関する意見

- ・ 食品健康影響評価の審議状況について、1,000件以上も依頼があるのにもかかわらず、評価が終了しているのは、571しかない。残っている評価依頼については、何もしていない

ということか？なぜ、これしか終わっていないのか？

- ・我々は様々な食品を摂取しているが、評価物質の組み合わせ調査などを行っているか？
- ・遺伝研の先生が研究で、魚の焦げの発がん性については、大根おろしと一緒に摂取すれば作用がなくなると聞いた。複合にも悪い場合とよい場合があるということではないか？遺伝毒性のある発がん物質においてもほかのものと食べて、なくなるということはあるのか？
- ・食品安全委員会の評価はどのような基準で行われているのか？自分の経験の中で、1960年代に石綿は科学的に安全であり有用な素材とされていたが、現在さまざまな問題を起こしている。BSEについても、ブルターニュを訪れたとき、肉骨粉が原因とされながら、まだ、こっそり輸出され隣国で使われていると聞いた。中国食品でも想定外の事件が起こっている。
- ・食品安全委員会の科学的な判断は50年後、100年後の安全性を担保できるのか。
- ・評価結果を告知するとき、「この時点での判断では、この評価が正しい」と告知すべき。
- ・高齢者社会が進むと、子供と同様に高齢者にも特別な基準を作る必要があるのではないか。

【添加物】

- ・食品添加物を1生涯で300kg摂取するとの記述を本で読んだことがある。食品安全委員会の評価は一品目ごとの評価だが、この結果は複合・混合した場合の安全性とどのように結びつくのか。
- ・食品添加物について日本と外国の基準はどうなっているか。また、アレルギーなどの関連で、添加物の基準の見直しがされることはあるか。

【農薬】

- ・残留農薬について国内基準が決められているとのことだが、すべての輸入食品に適用されるのか。また、国によって、農薬や食品ごとの基準値が異なることはあるのか。
- ・（残留）農薬の複合影響、複合汚染についてはどのように評価されているのか？
- ・5月2日の新聞で、厚労省はかつてメタミドホスのADIを0.0004mgとしていたが、今回食品安全委員会は0.0006mgとしたと聞いた。なぜ、再評価との前の評価の結果が異なるのか。危険性が変わったのか。
- ・今年2回目の参加である。前回農薬散布翌日に出荷した作物の残留農薬のデータを示してほしいという質問して、食品安全委員会の事務局から後日それなりの回答をいただいたのだが、安全ではあるが安心ではないというようなあいまいな回答だった。
- ・学校給食の事業をしているが、沖縄科学センターでは170種の農薬の検査しかできない。検査では残留農薬は0と出ているのだが、この（「福岡」会場、資料2：残留農薬）189検体についてはどのくらいの農薬について検査をおこなっているのか。
- ・ジャムやピューレなど輸入加工食品の残留農薬の検査は行われるのか。
- ・カロリーベースで6割以上が輸入食品である日本において、輸入原産地における農薬の安全性はどのように担保されているのか。

【器具・容器包装】

- ・ 3 日前の Yahoo ニュースで、プラスチックと食品の関係について、悪影響あることが確定したとあった。プラスチック容器に食品を入れると、胎児や子供に悪影響があるとのことだった。30 年位前から話題となっていたが、食品安全委員会では何か調査等を行っているのか。

【化学物質・汚染物質（食品中の有害物質）】

- ・ 本年の 1 月にニューヨークのマグロを使った寿司から、健康被害が出るほどの水銀が検出されたと報道されていた。日本人は、世界の中でも圧倒的にマグロを食べる民族だが、大丈夫か。
- ・ 生物学的半減期について、現在流行している「デトックス」「サウナ」などについて、その解毒効果は科学的にどこまで解明されているのか？
- ・ マグロを食べるとき、ワサビやタマネギをつければ、メチル水銀の解毒がされるということか？
- ・ 遺伝毒性について、微量でも発がん性がある物質、ホルムアルデヒド、等について他の化合物との複合影響はどうか？
- ・ マーガリンのように、昔は良くて、今ダメだとされているものもある。情報を見分けることが必要との話があったが、科学の情報を素人が理解し、判断するのは、実際困難であり、何を信じていいのかわからない。

【微生物・ウイルス】

- ・ 食品健康評価の審議状況について、微生物・ウイルス 4 件諮問中 3 件評価が終了したとあるが、具体的には何か。自分は食中毒が一番危険だと思っている。昨年、カンピロバクターやサルモネラについて評価が行われているかと尋ねたのだが、これらの評価は終了したのか。

【BSE】

- ・ BSE の全頭検査への補助金を打ち切る方針と舛添厚生大臣の発言があったが、今後の方向性を教えてほしい。

【遺伝子組換え食品等】

- ・ 食糧危機が世界的に問題である。対策として、遺伝子組み換え食品が取り上げられていると思う。組換え食品について、食品安全委員会は積極的に考えているのかどうか。

【新開発食品】

- ・ クローン牛が輸入されていると報道されていたが、どうなのか。
- ・ 管理栄養士をしているが、マルチビタミンをはじめとするサプリメント等の乱用が目にする。薬は薬剤師が管理できるが、サプリメントや健康食品についてはそのような管理がない。
- ・ 食品の安全性を考えると、食経験を考慮することも重要であるとのお話があったが、サ

プリメントの訴求の中には、“りんご10個分を濃縮した”というものも見かけたりするが、りんご10個を一度に食べるということは食経験と言えるのか。りんご3個ならどうか。

- ・ 特定保健用食品に関する食品安全委員会の見解を聞きたい。厚生労働省では、医療費削減のため、特保を推奨している。しかし、取りすぎで危害が起こることもあるのではないか。
- ・ 日々の健康相談で高齢者から、特保を飲み始めるので、薬の服用を止めていいかと聞かれる方もある。もっと、医師の相談に従ってというのを大きく表示した方がよい。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	合計
開催地	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	—
開催日	H20. 5. 20	H20. 5. 21	H20. 5. 27	H20. 5. 28	H20. 5. 30	H20. 6. 3	H20. 6. 4	H20. 6. 10	H20. 6. 11	H20. 6. 11	—
対象地域	北海道	東北6県	東京都、山梨県、長野県	埼玉県、千葉県、新潟県	茨城県、栃木県、群馬県、神奈川県	中国5県、四国4県	九州8県	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県	大阪府、兵庫県	富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県	—
参加者数（人）	13	27	39	34	47	38	38	30	32	28	326
回収数（人）	13	26	39	34	46	36	36	30	32	26	318
回収率	100. 0%	96. 3%	100. 0%	100. 0%	97. 9%	94. 7%	94. 7%	100. 0%	100. 0%	92. 9%	97. 5%

問 1 参加者の構成

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
食品関係業務経験者	23. 1%	26. 9%	35. 9%	35. 3%	47. 8%	44. 4%	36. 1%	26. 7%	34. 4%	30. 8%	35. 8%
食品関係研究職経験者	15. 4%	11. 5%	17. 9%	5. 9%	13. 0%	11. 1%	13. 9%	3. 3%	12. 5%	15. 4%	11. 9%
医療・教育職経験者	23. 1%	15. 4%	7. 7%	11. 8%	6. 5%	11. 1%	13. 9%	10. 0%	21. 9%	34. 6%	14. 2%
その他消費者一般	23. 1%	30. 8%	38. 5%	38. 2%	26. 1%	25. 0%	27. 8%	56. 7%	28. 1%	15. 4%	31. 4%
無回答	15. 4%	15. 4%	0. 0%	8. 8%	6. 5%	8. 3%	8. 3%	3. 3%	3. 1%	3. 8%	6. 6%

問 2 モニター継続区分

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
継続モニター	7. 7%	46. 2%	59. 0%	55. 9%	47. 8%	52. 8%	44. 4%	40. 0%	53. 1%	50. 0%	48. 4%
新規モニター	76. 9%	46. 2%	41. 0%	44. 1%	52. 2%	47. 2%	52. 8%	60. 0%	46. 9%	50. 0%	50. 0%
無回答	15. 4%	7. 7%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	2. 8%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	1. 6%

問 3 満足度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
満足	15. 4%	11. 5%	10. 3%	17. 6%	23. 9%	22. 2%	13. 9%	20. 0%	25. 0%	23. 1%	18. 6%
だいたい満足	69. 2%	61. 5%	71. 8%	67. 6%	52. 2%	61. 1%	63. 9%	53. 3%	53. 1%	46. 2%	59. 7%
どちらでもない	15. 4%	11. 5%	7. 7%	5. 9%	4. 3%	5. 6%	5. 6%	10. 0%	6. 3%	11. 5%	7. 5%
やや不満	0. 0%	0. 0%	0. 0%	5. 9%	0. 0%	2. 8%	8. 3%	0. 0%	0. 0%	7. 7%	2. 5%
不満	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%
無回答	0. 0%	15. 4%	10. 3%	2. 9%	19. 6%	8. 3%	8. 3%	16. 7%	15. 6%	11. 5%	11. 6%

第一部の事務局からの説明について

問4 理解度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
理解できた	30.8%	26.9%	48.7%	38.2%	54.3%	36.1%	38.9%	16.7%	53.1%	42.3%	40.3%
だいたい理解できた	53.8%	73.1%	48.7%	55.9%	43.5%	61.1%	55.6%	80.0%	46.9%	53.8%	56.3%
あまり理解できなかった	15.4%	0.0%	2.6%	2.9%	0.0%	2.8%	0.0%	3.3%	0.0%	3.8%	2.2%
理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.2%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%

問5 参考度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
非常に参考になった	38.5%	34.6%	20.5%	32.4%	52.2%	52.8%	38.9%	36.7%	31.3%	23.1%	36.8%
ある程度参考になった	61.5%	61.5%	71.8%	67.6%	47.8%	41.7%	52.8%	63.3%	68.8%	73.1%	60.1%
あまり参考にならなかった	0.0%	3.8%	5.1%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	1.9%
全く参考にならなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%

問6 内容がわかりにくかった点（問4で「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方のみ）

（人）

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
説明に専門用語が多かった	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
資料がわかりにくかった	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
聞き取りにくかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
適切な説明時間が確保されていなかった	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1名未回答

問7 参考にならなかった点（問5で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ）

（人）

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
すでに知っている内容がほとんどだったから	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	4
内容が理解できなかったから	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2

第一部の「食品健康影響評価等の実際」について

問8 理解度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
個別テーマ	有害物質	残留農薬	リスクミ	有害物質	残留農薬	残留農薬	残留農薬	残留農薬 ／食品添加物	残留農薬 ／食品添加物	たべものを まもる方法	-
理解できた	38.5%	30.8%	33.3%	44.1%	50.0%	41.7%	41.7%	13.3%	53.1%	26.9%	38.4%
だいたい理解できた	61.5%	57.7%	53.8%	50.0%	47.8%	55.6%	52.8%	83.3%	43.8%	65.4%	56.0%
あまり理解できなかった	0.0%	11.5%	12.8%	2.9%	2.2%	2.8%	0.0%	3.3%	0.0%	3.8%	4.1%
理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	3.8%	0.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%

問9 参考度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
非常に参考になった	46.2%	26.9%	20.5%	29.4%	47.8%	52.8%	30.6%	30.0%	37.5%	19.2%	34.3%
ある程度参考になった	53.8%	69.2%	64.1%	64.7%	52.2%	44.4%	61.1%	63.3%	62.5%	73.1%	60.4%
あまり参考にならなかった	0.0%	3.8%	15.4%	2.9%	0.0%	2.8%	0.0%	6.7%	0.0%	3.8%	3.8%
全く参考にならなかった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	3.8%	0.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%

問10 内容がわかりにくかった点（問8で「あまり理解できなかった」、「理解できなかった」と回答した方のみ）

（人）

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
説明に専門用語が多かった	0	2	0	1	0	1	0	1	1	1	7
資料がわかりにくかった	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
聞き取りにくかった	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
適切な説明時間が確保されていなかった	0	3	1	1	0	1	0	1	0	0	7
その他	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	4
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問11 参考にならなかった点（問9で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ）

（人）

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
すでに知っている内容がほとんどだったから	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	4
内容が理解できなかったから	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	4	1	0	0	0	0	0	2	7

第二部のモニターからの活動報告と意見交換について

問 1 2 参考度合

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
非常に参考になった	30.8%	30.8%	41.0%	17.6%	43.5%	44.4%	30.6%	26.7%	53.1%	57.7%	38.1%
ある程度参考になった	46.2%	50.0%	48.7%	64.7%	43.5%	47.2%	44.4%	70.0%	40.6%	30.8%	48.7%
あまり参考にならなかった	15.4%	7.7%	5.1%	5.9%	4.3%	0.0%	11.1%	0.0%	3.1%	0.0%	4.7%
全く参考にならなかった	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.9%
無回答	0.0%	7.7%	5.1%	11.8%	8.7%	8.3%	13.9%	3.3%	3.1%	7.7%	7.5%

問 1 3 意見交換に充てられた時間

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
もっと短くてもよかった	23.1%	0.0%	2.6%	0.0%	8.7%	5.6%	5.6%	6.7%	3.1%	11.5%	5.7%
適当であった	53.8%	61.5%	69.2%	41.2%	54.3%	55.6%	44.4%	53.3%	81.3%	57.7%	57.2%
もっと時間が欲しかった	23.1%	34.6%	23.1%	44.1%	28.3%	33.3%	44.4%	36.7%	9.4%	26.9%	30.8%
無回答	0.0%	3.8%	5.1%	14.7%	8.7%	5.6%	5.6%	3.3%	6.3%	3.8%	6.3%

第二部 小グループでの交流時間

問 1 4 参考度

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
非常に参考になった	30.8%	30.8%	41.0%	17.6%	43.5%	44.4%	30.6%	26.7%	53.1%	57.7%	38.1%
ある程度参考になった	46.2%	50.0%	48.7%	64.7%	43.5%	47.2%	44.4%	70.0%	40.6%	30.8%	48.7%
あまり参考にならなかった	15.4%	7.7%	5.1%	5.9%	4.3%	0.0%	11.1%	0.0%	3.1%	0.0%	4.7%
全く参考にならなかった	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.9%
無回答	0.0%	7.7%	5.1%	11.8%	8.7%	8.3%	13.9%	3.3%	3.1%	7.7%	7.5%

問 1 5 参考にならなかった理由（問 1 4 で「あまり参考にならなかった」、「全く参考にならなかった」と回答した方のみ）

	札幌	仙台	東京1	東京2	東京3	岡山	福岡	名古屋	大阪1	大阪2	全体
聞き取りにくかった	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	5
適切な時間が確保されていなかった	0	1	2	2	0	0	1	0	0	0	6
その他	3	1	0	1	2	0	1	0	1	1	10
合計	3	3	3	3	3	0	4	0	1	1	21

問 16 会議全体についての感想や御意見など

○ 会議の運営に関する感想や御意見

【会議全般】

全般的に、「モニターに参加する気持ちが高まった」、「委員会について理解が深まった」などの感想が多かった。講演については、「昨年よりも分かり易くなった」という意見がある一方、「内容を盛り込みすぎ、平易な言葉で説明していただきたい」、「時機を得た内容を話して欲しい」という要望もあった。「東京会場に於いては委員の先生全員から一言づつお話を伺いたかった」という意見もあった。

会議の在り方については、「大変有意義であるので、このような機会を増やして欲しい」という意見や、今年度から新たな試みとして開始したモニター同士の交流については、「是非継続して欲しい」との要望があった。

【モニターからの活動報告・モニター同士の交流と会議時間】

全体的には、「様々な立場の方の考えや意見を聞いて参考になった」、「充実していた」という評価や、19年度からの継続モニターの活動発表（各会場3名程度）を受け、「モニター活動のイメージが掴めた」、「モニター活動への意欲が高まった」、との感想が多数見受けられた。

一方、「モニター同士の交流の時間が短い」との意見もあり、モニター同士の交流については、「時間が短かったため自己紹介で終わったのもっと話がしたかった」との要望もあった。更に、テーマを設けて話し合いの時間を取ってはどうか等、の提案があった。

○ 説明内容等に対する主な感想・御意見等（会議運営以外）

【札幌】

- ・ モニターとして参加する気が強まった。
- ・ とても勉強になりました。まだまだ関心があるものの、知識が乏しいなと痛感……。これからもがんばっていきこうと思います。よろしく御願いたします。
- ・ 前半の説明（「食品の安全性と信頼性確保」事務局からの説明、「食品健康影響評価等の実際」委員からの講演）が大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 説明は優先順位の的をしぼった方が良いのでは。

【仙台】

- ・ モニターの入替えも大分あり、また、年齢も比較的若返りもしている様で活気があってよかった。
- ・ 無我夢中の3時間だった様に思いました。皆様の意見や発想のすばらしさに納得しながら聞いていました。今後、モニターとして頑張りたいと思います。これからの活動が楽しみです。
- ・ 初めて参加しましたので、とても参考になりました。去年はほとんど活動できなかったもので、今日を機会にがんばっていききたいと思います。ネットワークづくりが出来ればと思います。いろいろな人と接してこれからも広報していけるとと思います。
- ・ 色々な職種の方々の考え方、思いなどが意見交換で分かり大変有意義でした。技術が発達するにつれ、リスクは見えてきて、増えていくことを実感しました。食品安全委員会のこれからのリスク評価に期待したいと思います。
- ・ せっかくの機会なので時間を多くとってほしい（1日でもよいのでは）と思います。
- ・ 「意見交換」についてしぼった議題がほしかった。前もって議題を決めて意見交換をした方が参考になったと思います。

- ・ 小グループでの交流は、人数が多すぎた。ほとんど自己紹介で終わった。
- ・ ①資料1.2（「食品の安全性と信頼性確保」事務局からの説明、「食品健康影響評価等の実際」委員からの講演）の活字が小さいのが残念だった。パワーポイントではよく見えたが帰宅して見直そうと思うと難しい。
- ・ 第一部の食品の安全性と信頼性確保の内容は少々聞き取りづらく残念でした。いつも時間がなくだれかの話がざっぱになってしまうのが残念でした。
- ・ 完全な安全・安心の食品はないと思いますが、健康に影響をもたらす食品をもう少し多く取り上げて下されば幸いです。
- ・ 内容は少し難しかったような気もしますが、参考になりました。今後ともよろしくお願い致します。ありがとうございました。

【東京1】

- ・ 自分の立場を生かした地域への協力をどうするのかを今後考えたい。また、その為に今の会議を生かして行きたい。
- ・ 頑張って勉強して行こうとモチベーションが上がりました。有り難うございました。
- ・ 参加できた事で責任感が益々強まったと思います。
- ・ 会議に参加してどんなものかがよりはっきりしてきました。まだ、知識と理解を高める段階ですが頂いた用語集を参考にして安全モニターの責任をしっかりと果たしたいと考えています。
- ・ 「委員会の活動などについて地域へ情報提供していただく」というのがモニターに期待されているが、この点については申し訳ないが不足しています。ただ、某大学の食品科学系の講座に関わりがあり、特に「食品安全」については学生に科学的につたえるよう、話しています。「安全は科学」、「安心は感情」正しい認識を。参考になりました。
- ・ Step by step で草の根運動を展開していきましょう！
- ・ 実際に参加することで、具体的なモニターの方からの意見や活動がきけ、今後の自分がモニターとしてどうしていけばいいのか大変参考になった。ありがとうございました。
- ・ 小グループで少しですが、お話をする機会があって良かったと思います。
- ・ 小グループに分かれての意見交換がグループの人数が多すぎたと思う。自己紹介でほぼ終わってしまっていて残念。しかし、試みはよいと思うのでさらに機会を設けてやって欲しいと思う。
- ・ 食の安全について今まで国として充分な取組が出来ていないと感じていたが、目に見えない部分が多いが安全についての取組がなされている事に安心感がでた。
- ・ 第一部、内容が重複する事項が多く資料も同じ物が見られたが発表者の手を変えての説明に苦労を感じられた。
- ・ 栄養情報担当者（NR）、サプリメントアドバイザーなどの試験を通じて勉強しまして、リスクコミュニケーションの実際が体験できまして、感動しています。今後も食についての問題を自分なりに考えて参加して参ります。よろしくお願い致します。
- ・ 初回の会議だったので十分に理解することが出来なかった。また、内容が高度な物も多いと思います。

【東京2】

- ・ 活発な質疑応答があり刺激をうけました。この会議が1年に1回というのは仕方ありませんが、モニターの考えもバラエティーに富んでおりその間の情報交換も大切だと感じました。もう少しネット等の活用があればうれしいと感じました。
- ・ モニター2年目です。1年目はモニターとして理解度が低く、訳の分からないまま過ぎてしまいましたが、地域ではボランティア団体の方々と一緒に青少年育成の中で食（安全）についての講演等を依頼されて行ったりと、活動はしております。今年、レポート提出も頑張る

ます。大変良いお話を有難うございました。多いに役立たせたいと思います。

- ・ モニター会議の出席も3回目になりますが、自分が慣れてきたせいもありとても聞きやすく、今回は特にすごく勉強になった気がします。普段あまり報告などの活動をしていませんが、今回の内容（第一部）を食品・農薬などに興味を持ち勉強中の高校生の娘に話したいと思います。
- ・ 3時間という短い時間にボリュームが多くて大変だと思う。1人で理解を深める事も大切であるが、意見交換の大切さを感じた。
- ・ 昨年度も参加させていただいたのですが、今回のほうが講演も分り易く、モニターの交流もできて良かったです。モニター交流の時間がもう少し長ければ良かったと。人数も5～6人程度にして相互に話をしたかったです。
- ・ モニター間の交流についてももう少し積極的に取り組む姿勢が欲しい。例えば、3ヶ月に一度位、この会議で自由に集まって意見交換をする場を提供する。勿論すべて自費とする。
- ・ 新モニターとしてとてもモチベーションが上がる充実した内容でした。多数の方々に自信をもって食の安全について話していただきたいと思います。
- ・ 何気なく申込みましたが様々な人が参加していることに非常に驚きました。報告については思ったより少なく、頑張っって提出していきたいと思います。地域の交流はもっと活発に行うべきだと思いました。
- ・ 昨年より前進したと思います。地元での活動について支援方法等で一考されるとよいと思います。
- ・ プレゼンの内容が細かく専門的で専門用語が多い。かなり知識レベルの高い人向けという感じはあった。ベース知識のない人には難しいと思われる（特に単位換算、ppm、ppb はピンとくる人は少ないかもしれない）。
- ・ 大変勉強になりました。日頃から問題意識をもって食品の安全について考えてみたいと思います。第一部は特に勉強になりました。
- ・ 講演、分り易くて良かった。
- ・ マスメディアも疑うことが必要というお話がありましたが、最もだと思います。また、国の安全基準も現時点であるということもありましたが、これは逆に広報が足りないと思います。リスクゼロでないということを明かにして（不安をあおるという意味ではありません）、消費者の選択に際し、誤解が少なくなるようにして頂きたい。

【東京3】

- ・ 本日の話をうかがった上で活動の道筋を考えたいと思って参加しました。考えが少しまとまって来ましたのでとにかく一度報告書を提出したいと思います。よろしく御願いたします。
- ・ モニター報告では、報告書の書き方についてお話された方には共感を覚えうなづけました。
- ・ 他のモニターの方が積極的に活動されていることがよくわかり、今後自分もしっかりやっていこうという気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・ 食品安全委員会の目的・概要をこれまで理解していませんでしたがおおよそわかりました。
- ・ 貴重なお話を聞かせていただきとても参考になりました。今後もメールやホームページなど情報を確認させていただきたく思います。本日はありがとうございました。
- ・ 私として、今まで情報が得られなかった内容が多かったです（特に第2部の意見交換会が）。いろんな分野の方々の話が聞けて参考になりました。これから勉強して調べないと報告書提出が難しいかなと思いました。
- ・ モニター同士で小グループでお話することができたことは、とても参考になりました。現状がよくわかることと、いろんな立場の方が集まっていることが感じられました。もう少し時間がほしかったのですが、今後もこの様な小グループでの時間をとって頂ければと思います。

- ・ 安全モニターの方3名からの活動報告も今回初めてモニターを務める自分にとってとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 2つの講演は抽象性と具体性を生かしていただき納得できるものでした。はじめの講演での「リスクとつきあう」で知識を身につける、メディアの情報を見分ける、読み取るということとは日頃思っていることで国民全員がそう思っている部分です。

【岡山】

- ・ 2回目のモニター会議出席のため目新しい事はなかった。ややマンネリになったかな（私自身を含めて）。モニター活動を地域に根ざす事の難しさを痛感しています。地域との接点は多少あるつもりでも関心のある食品のあることでも、じっくりと話せる機会がなかなかもないものです。
- ・ 全体的に理解しやすい会議でとても良かった。今年一年、より勉強し頑張りたい、地域に帰って活動したい気持ちを育ててもらいました。
- ・ 食品の安全に関心のある方の集まりだと言えば納得できますが、あまりに片寄った意見にびっくりしました。救いは委員の良識ある意見でした。
- ・ 例年よりも早い時期のモニター会議の開催ありがとうございました。他のモニターさんがどのようにしてモニター報告を作成しているのかの体験談をお聞きすることができまして参考になりましたし、励みになりました。私も一層がんばらなくては!!と思いました
- ・ いままでの認識が改まりとても良かったです。参加させていただきありがとうございました。
- ・ 地方自治体の協力などが見えない！
- ・ 今年は2年目のモニター活動になりますが、自分自身、具体的にどのような活動をしていけばよいのか不安もありました。今回会議に参加したことで、自分のスタンスでできることからはじめようと思いました。今まで難しく考えすぎていたようです。
- ・ いろいろな分野の方がそれぞれの考えでモニターに参加しているのを知って、大変参考になりました。
- ・ 小グループに分かれたモニター交流の時間が短かったのが残念でした。自己紹介だけで終わってしまいましたので、もう少し皆さんから色々お話を聞きたかった。
- ・ 小グループの交流はある程度テーマの範囲を決めてやられてはどうですか？
- ・ 出来ればさらに少人数（6人位）の方が意見が出やすく良いと思います。しかし今回のような場を設けて頂いた事は情報収集や視点を変えられるので良いと思います。
- ・ 国のやっている安全対策は充分と思う。食育からみで健康・栄養面からの安全な食品に対する各自の態度も重要と思う。
- ・ 食品安全委員会が1つの農薬の試験をするのに膨大なデータ（実験）を集める事を知り、驚きました。
- ・ 資料2も分かりやすかった。農薬への考え方が少しは変化した。
- ・ 特に今回は残留農薬、ADIの設定など委員が非常に分かりやすく説明していただき、参考となりました。
- ・ パワーポイントは難しすぎてびっくり。自分が関心の薄い内容だったので場違いかと思いました。
- ・ 資料5（食品安全モニターからの報告 H19. 3）はとても参考になりました。会議前に何回も読みいい勉強になり良かったです。
- ・ 資料1（「食品の安全性と信頼性確保」）は昨年度より分かり易く為になった。リスクについて妥当な判断力を日々培わなければならないと思いました。

【福岡】

- ・ 初めてモニターの仕事をして頂くのにとっても参考になりました。各分野で活躍されている方々の意見をもっと聞くことができたかと、とても残念です。
- ・ 私の周囲には、食に対する関心が高い方が多いので、これからはいろいろな疑問、意見を集めてモニターの期間を充実させていきたいと思います。
- ・ 今まで私自身から地域に向けて行動をおこすという事はなかったのですが、大げさに考えなくても友人、知人等より又家族に向けて、主婦の立場から情報を発信していけたらと思いました。
- ・ いろんなジャンルの方のいろんな有意義な意見をたくさん聞くことができ、勉強になりました。
- ・ 今日は大変お世話になりました。2年目ですが昨年に比べて内容が充実していたように思われます。モニターとしての役割がよく理解できましたので、これからの活動に生かしていきたいと思います。
- ・ モニターからの活動報告はもっと具体的な事例の発表があると良かったと思います。
- ・ アンケートから得られた意見はどのような形でいかされるのですか？
- ・ 年に1回しかないのは残念です。予算もあるでしょうが回数をふやして頂きたいです。モニター間の意見交換は良かったです。
- ・ 意見交換は時間が短いなと思いました。まとめる方も大変だと思います。
- ・ 小グループの意見交換はよかった。報告書を書く悩みが共有できた。
- ・ グループに分かれての意見交換は面白かったです。委員の方が中に入っていたので、会議では聞けないことも聞けて良かったです。
- ・ パワーポイントでの説明、よく理解できました。ありがとうございました。
- ・ 発表者は資料くらい自分でそろえるべきではないか。
- ・ 説明がサラッとしていて、少々内容についての深みが不足していた。
- ・ 資料はけちらないでカラーコピーして欲しかった。黒くつぶれてせつかくのデータが見にくかった。
- ・ 今、非常に問題となっている渦中の話題についても話してほしい(BSEで揺れている国民感情と安全だとする委員会の見解の温度差について)
- ・ 第一部：資料はよくできていますが、説明がはしょりすぎで基本的なところを丁寧にしないと中途半端な理解になる。
- ・ 第一部について：分かりやすい内容で良かったと思います。今まで理解していた内容を再確認できたと思います。
- ・ 第一部の説明は要点だけに絞り、今かかえている食の問題などをクローズアップさせた方がいいのではないかと思います。
- ・ モニターの質疑に対する応答に後で答えます、というのが多かった。質疑の内容にも問題があるのだろうが対応する側にも一考してほしいと思う。

【名古屋】

- ・ 昨年度からのモニターの方の活動状況は参考になり、今後の活動が身近に感じられました。
- ・ 色々な食にまつわる事件が起こっている中、今回集まって来られた方々もとても関心が高い事に感心しました。自分ももっとこれからモニターとして積極的に活動していきたいと思いました。
- ・ 予想以上にいろいろなことがわかりました。モニター会議で実際にいろいろな話を聞くと世の中の食に関する情報に敏感になれる。モニター報告にも反映できると思います。
- ・ ぼんやりとしかわかっていなかった食品安全モニターのことが少しはっきりわかってきまし

た。これから1年間頑張っていこうと思います。

- ・ 第二部：話やすい雰囲気の中、モニター活動のことが出来る。
- ・ もう少し時間があったらよいと思います。1時間は欲しいです（小グループの意見交換）。
- ・ 全般的にもっと長く時間をとって意見交換したかった。
- ・ モニター会議はこの委員会にとってどのように役に立っていますか？また、役に立っているとお感じですか？
- ・ 第一部：食品安全委員会のしくみやはたらきを知ることができ、とても分かり易かった。
- ・ 第一部の内容は良い勉強になりました。
- ・ 食の安全、安心がゆらぐ中、きちんとした情報を得られるお話を聞きとても勉強になりました。

【大阪1】

- ・ 食品安全委員会のスタンスが少し理解できた様に思う。各モニターとの話し合いで各々の立場が少し分かりました。
- ・ 地域、企業への食の安全、情報の橋渡しをこれからも着実に行います。
- ・ 問題意識が高い方が多く、いろいろな意見が参考になった。
- ・ 全体のモニターさんがどういう関係筋の人がおられるか、だいたいの人数などが知りたかった。
- ・ 色んな職種の方々がおられて興味深い話が聞けました。よかったです。
- ・ 第二部：モニターの活動についてとてもよく分かった気がします。できる範囲で活動してくれればよいということをおっしゃられたので、とても気が楽になったというか、私にもできることがあると前向きな気持ちになりました。
- ・ 委員会側からモニターに対する期待など直接聞けて参加して良かったなと思います。また、モニターになったこの機会が非常にまれであった点は参考になりました。
- ・ モニター同士の意見交換というより事務局への質問になってしまった。自分の参加の姿勢も考えねばと思いました。
- ・ 資料2：添加物の長期間の累積の影響について、解毒機構や水溶性などにより排泄されるから特に影響はないということですが、一度に多量に取ると毒性があるということがとても興味深かった。
- ・ 委員の方の説明がわかりやすかったです。
- ・ 第一部の先生の話はむずかしくて長いので、一般の人には理解しづらいと思います。

【大阪2】

- ・ 初めて参加させて頂きましたが、大変興味深い内容で参考になりました。私も勉強して皆様のお役にたてる様にしたいと考えています。今後もよろしくお願い致します。報告書もできるだけ提出させて頂きます。
- ・ 前回に比べモニターの意見を取り入れられた結果、分り易いものになっていました。今後共よろしくお願い申し上げます。
- ・ 小グループの意見交換会はとても良いと思います。これからは何かテーマを決めてすれば良いでしょう。
- ・ モニター一年目ではじめての経験。特に自分から意見を言うこともありませんが、皆様の意見をお聞きでき、とても参考になりました。
- ・ マスコミで報道されていること以外のことを情報として知りたかった。本質的にモニターは何をすればよいのか分からない。